

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月19日		記入者		内線	2696
部 名	保健福祉部	課 名	こども育成課		課長名	瀬戸茂美
事務事業名	ファミリーサポートセンター事業					
予算上の事務事業名	ファミリー・サポート・センター推進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	13120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます					
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 子育て支援の充実				平成14年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
仕事と家庭両立支援特別援助事業実施要綱、相模原市ファミリーサポートセンター設置要綱、相模原市ファミリーサポートセンター事務取扱規程、相模原市ファミリーサポートセンター運営委員会要綱						
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市次世代育成支援行動計画		少子化が進行する中で、次代を担う子どもと子育て家庭を総合的に支援することを目的に、子育て・子育て支援施策の方向性や目標を定めたもの。			
計画年次	17	年度～	21	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)			
安心とゆとりをもって子育てができるように、子育ての手助けが欲しい人と手助けを行いたい人を組織化し、地域において会員同士が子育てに関する相互援助活動を行うことにより、労働者が仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、もって労働者の福祉増進及び児童の福祉の向上を図ることを目的とする。			子育ての手助けが欲しい市民及び手助けを行いたい市民			
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
相模原市ファミリーサポートセンターの運営(運営は相模原市社会福祉協議会に委託) ・会員数 1,239人(利用会員 765人 援助会員 426人 両方会員 48人)(H17.3.31現在) ・相互援助活動件数 14,238件 ・説明会(12回) ・講習会(9回) ・援助会員随時研修会(2回) ・会員交流会(2回) ・会報の発行(1回) ・運営委員会(2回) ・事務局体制 センター開設時間 午前8時30分～午後7時30分 アドバイザーの配置 4人 ・利用しやすい「しくみ」とするため、地域の窓口として『エリアポスト』を設置(120施設)						
6 関連・類似事業や他市の状況	県内では、本市を含め、17市町で実施している。 また、次世代育成支援行動計画の策定にあたり、具体的な目標値を設定することとされた保育・子育て支援事業に関する14事業に該当し、取り組みを推進していく事業となっている。					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	10,908	12,577	12,178	12,289	12,903	
一般財源	5,398	6,973	7,080	9,743	10,357	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	5,510	5,604	5,098	2,546	2,546	
人件費の合計	2,517	801	807	1,614	1,614	
事業コスト合計(a)	13,425	13,378	12,985	13,903	14,517	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	ファミリーサポートセンター事業			対象名称(単位)	活動件数(件)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	13,425	13,378	12,985	13,903	14,517	
対象数	1,945	9,621	14,238	15,120	15,840	
単位あたり経費(円)	6,902	1,390	912	920	916	
前年度比		0.20	0.66	1.01	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	活動件数（件）	指標式と指標の説明	活動件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1,945.0	9,621.0	14,238.0		
目標	1,800.0	6,000.0	12,000.0	15,120.0	15,840.0
目標達成度	1.08	1.60	1.19		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	会員1人あたりの活動件数	指標式と指標の説明	活動件数/会員数（各年度末時点）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	2.7	8.6	11.5		
目標	2.6	4.3	8.6	12.0	12.0
目標達成度	103.8	200.0	133.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を受けている。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		相互援助活動は、1回あたりの活動時間が1時間以内、時間帯は午後5時から7時が多く、既存の事業では対応できないサービスを補完していると言える。また、活動件数の推移をみると伸び率が高く、地域の子育て支援事業として、拡充・充実させていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
会員の多様なニーズに対応するために相互援助活動の範囲の拡大や、利用会員が利用しやすく、援助会員が充実感を感じるようにするため、活動謝礼への助成などについて検討をする必要がある。			会員からの相談体制の充実、業務量の増加に対応する事務局体制の確立等		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			